

吉澤延隆 箏リサイタル ～ノード～ 開催

フィンランド人作曲家と箏奏者による新しい箏曲の世界



[新作委嘱作曲家]



ユハ T・コスキネン

1972年フィンランド生まれ。仏教、日本の古典文学にも造詣が深く、2023年10月にはピアノのための《柳宿》が、東京で初演される。現在、愛知県立芸術大学作曲家客員教授。



エートゥ・ランタ=アホ

1992年生まれ。2021年ヘルシンキ現代オペラ芸術祭にて日本語オペラ《眠る男》(台本：池田理代子)が上演されるなど注目を集める若手作曲家。

フィンランド人作曲家作品による新しい箏曲

最初の日芬音楽家の協働作業から半世紀を迎える

箏、三味線、尺八といった邦楽器の演奏家とフィンランド人作曲家の共同作業は、先進的な取り組みに思われるかもしれない。しかし、実は、1960年代以降に起こった「現代邦楽」時代を牽引していたアンサンブルグループ「邦楽四人の会」とフィンランド人作曲家のP・H・ノルドグレン（1944-2008）による共同作業が1974年に行われている。

この公演では、その最初の邦楽とフィンランド人作曲家との出会いから半世紀が経とうとしている今、数多くの世界的な音楽家を育むフィンランドに注目し、邦楽器との最初の共同作業を行なったノルドグレンはもちろん、フィンランド音楽の祖ともいえるJ・シベリウス（1865-1957）、現代の作曲家として高名で、今年6月の訃報が世界中のファンを哀しませたK・サーリアホ（1952-2023）、そして、2018年から“新しい箏曲”をつくるための共同作業を行ってきたユハ・T・コスキネン（1972-）氏と、デジタルネイティブ世代の若手作曲家で2021年のヘルシンキ現代オペラ芸術祭においてオペラ《眠る男》（台本：池田理代子）を手掛けたエートゥ・ランタ=アホ（1992-）氏への箏と弦楽四重奏のための新作委嘱によるオール・フィンランド・プログラムで構成する。

この「ノード」というコンセプトのもと行う取り組みは、“分断”や“分裂”といったフォルトラインでの衝突が起こっている今日の世界情勢や経済、市民社会の中で、私たち邦楽器奏者が、どの様な音楽を演奏し、創り、これからの社会に何を発信していくべきか考える機会になるだろう。

吉澤延隆 箏リサイタル ～ノード～

公演詳細

【とき】2023年11月26日（日）14:30開場／15:00開演

【ところ】[トーキョーコンサーツ・ラボ](#)（東京都新宿区西早稲田2-3-18）

東京メトロ東西線「早稲田」駅2番/3b出口より徒歩6分

東京メトロ副都心線「西早稲田」駅2番出口より徒歩10分

【プログラム】

ユハ T・コスキネン

《薄氷》十七絃箏のために

《沈香の拡張》委嘱新作・世界初演*

エートゥ・ランタ＝アホ

《Air dances》委嘱新作・世界初演*

ジャン・シベリウス

《8つの小品》

ペール・ヘンリク・ノルドグレン

《Dance》《Fluttering》

カイヤ・サーリアホ

《Couleurs du Vent》

【出演】

吉澤延隆（箏）

中澤沙央里（ヴァイオリン）*

迫田 圭（ヴァイオリン）*

福田道子（ヴィオラ）*

鈴木皓矢（チェロ）*

【料金】

一般券：¥4,000（全席自由）

学生券：¥2,000（小学生以上・大学生以下）

eチケットは、公式オンラインストア（<https://nobutaka-yoshizawa.stores.jp>）にて各券1割引でお求めいただけます。

【主催・お問い合わせ・チケット購入】

吉澤延隆箏曲研究所

【後援】

フィンランド大使館／日本・フィンランド新音楽協会／東海大学
教養学部芸術学科音楽学課程

【助成】

Madetoja Foundation／スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団



吉澤延隆（箏、十七絃箏、二十絃箏）

吉澤延隆箏曲研究所代表。2007年 東海大学大学院芸術学研究科修士課程修了。これまでに第15回賢順記念全国箏曲コンクール第1位・賢順賞、宇都宮市より「うつのみや市民賞」、第10回「宇都宮エスペール賞」を受賞。13年 CD「KOTO Nobutaka Yoshizawa」をリリース。16年より栃木県「とちぎ未来大使」に就任。

21年より、異なる分野のアーティストや専門家をつなぐコンサート・プロジェクト「NOBU-LAB.」（ノブラボ）をスタートし、22年に開催した『大谷石蔵の響き～とちぎ未来大使を迎えて～』は令和4年度「厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財」に決定。

23年、日本とアゼルバイジャン、ジョージア、アルメニアの外交関係樹立30周年を記念した外務省「コーカサス文化観光交流フェスティバル」において3カ国4都市6公演2ワークショップを行う。

現在、東海大学教養学部芸術学科非常勤講師、東京文化会館ワークショップ・リーダー、滋賀県立文化産業交流会館「邦楽専門実演家養成事業」講師。日本・フィンランド新音楽協会会員。毎月28日は、ニューズレター「koto-nobu-log.」をウェブ発刊中！

<https://www.nobutaka-yoshizawa.com>

このプレスリリースに関するお問い合わせは、吉澤延隆箏曲研究所まで。

メール labo@nobutaka-yoshizawa.com